

# 矢口ゼミ



ゼミ教員 **矢口幸康**先生

<担当科目>

心理学概論  
心理学史  
知覚・認知心理学  
応用認知心理学  
心理学研究法  
心理学実験Ⅰ・Ⅱ

## 担当教員 専門分野

- ・擬音語擬態語（オノマトペ）の五感イメージ表象プロセスの検証
- ・心理学史における第二次世界大戦前研究の現代的意義の検討

## ゼミの特徴

矢口ゼミ在籍の学生には、卒論研究として知覚・認知心理学のテーマに基づく実験を推奨しています。

3年次から心理学実験をするためのトレーニングとして、簡単なプログラミングや実験装置の作成を経験します。実験に必要なPCや機材は研究室で貸し出し可能です。

4年次になると各学生の関心に基づいて実験を行います。ゼミ生の卒論テーマは、「情動状態が文章記憶に与える影響」や「欠損した幾何学的図形による錯視量とアイメイクとの関連」「重量感錯覚に色彩情報が与える影響」など、多様な研究を実施しています。

## 過去の卒業論文題目

- ・色彩情報がシャンパルティ工錯覚量に与える影響
- ・色彩イメージ連想の一致不一致がワーキングメモリパフォーマンスに与える影響
- ・音楽聴取による情動誘導がリーディングスパンテスト成績に与える影響
- ・洋服購買時の色選択行動に匂い手がかりが与える影響
- ・オノマトペを用いた時間知覚における新奇性効果の検討

